

## 第2回 松戸市公共施設再編整備推進審議会 議事録

日 時 平成27年12月15日(火) 9:00～10:30

場 所 松戸市役所新館5階 市民サロン

出席者 【委員】柳澤委員、藤村委員、小川委員、池澤委員、原田委員※欠席

【事務局】3名

【傍聴席】2名

次 第

開 会

(1) 議事

○議題1 前回の議事の確認

○議題2 (仮称)公共施設再編基本計画の概要について

○議題3 公共施設再編整備とコミュニティプランニングについて

○議題4 まちづくり用地(旧65街区)の利活用について

閉 会

## 【議 事】

- 「(仮称)公共施設再編基本計画の概要」について ※要点のみ記載
  - ▶事務局より、基本計画のフレームプランを掲示し、小学校を拠点としてその他施設を複合化していく他市の事例を紹介した。また、総合計画、都市マスタープラン、立地適正化計画等の整合性を図る必要性を説明した。
  - ▶池澤委員より、総合管理計画等の体系に関する補足説明をした。
  
- ・ 主な意見
  - ▶二層のエリアマネジメント：コミュニティ形成と広域の連携が必要である。また、地域ごとに施設機能をフルスペックで持つのではなく、エリアあるいは自治体をまたいで連携していく必要がある。
  - ▶他市での検討事例だが、中学校は規模を維持する（部活動の多様性維持）、小学校は数を維持することが重要なので、将来的に、中学校は重量建築で拠点化し、小学校は低層木造で計画しているケースもある。
  - ▶大は小を兼ねるという時代ではない。利用用途の変化の想定、暫定利用を考慮するなど、1か0かという議論ではなく、メタボリズム的な考え方もあるかもしれない。
  - ▶小学校や中学校を拠点にとっても、交通の利便性など地域によっては適切ではないケースがある。対象地域の中心がどこにあるのかを知ることが重要ではないか。
  - ▶交通の便がよくないところもあるので、そのあたりも考慮すべきである。
  
- 「公共施設再編整備とコミュニティプランニング」について ※要点のみ記載
  - ▶事務局より、松戸市の地域の成立過程と小学校区、中学校区別の今後6年の児童・生徒数並びに空き教室数の見とおしについて説明した。
  
- ・ 主な意見
  - ▶他市の事例では、人口72,000人のまちを12,000人ずつの地域に6分割し、児童数が40年後におよそ半減するという推計を基に、公共施設再編プロジェクトを人口、面積の両面から考えている。人口動態から全体像を地図に落とすことをしている。
  - ▶どういうまちにしたいか、地域ごとのランドデザインをもつことが重要である。どの地区でも同じ仕様でなければならないという話を聞くが、それぞれオリジナルな施設像をつくっていけばいい。
  - ▶一方で、都心の例だが、学区選択制にしたのを元に戻したところもある。人がたくさん集まるところとそうでないところのコントラストがでてくるため、地域間の偏りを生まないための施策が求められるケースもある。
  - ▶今後30年程度の学級数の推計を出して欲しい。先行してモデル地区、施設像を考えて、庁内の合意形成を図っていく必要があると思う。全体像を決めてからやるので

- はなく、プロジェクト型で先行して事業を行い、合意形成していければよい。
- ▶事業の推進体制が重要。市民だけでなく、庁内でも具体的なイメージを共有することが重要である。この 審議会の場合に關係課の方も同席いただくべきではないか。
  - ▶ニュータウンであればトップダウンでよいかもしれないが、既成市街地においては、個別のアクションプランから全体計画にフィードバックしていく必要がある。
  - ▶個別計画から全体計画、全体計画から個別計画という双方向のベクトル、意識が重要である。
  - ▶利害調整するだけでは八方美人的な計画になってしまうので、コーディネーターからプロデューサーへの意識変換が必要。

○ まちづくり用地（東松戸65街区）について ※要点のみ記載

- ▶事務局より、当該地の利活用に関し、市民参画の手法を取り入れ官学連携でプロジェクトを進めていきたい旨の説明をした。
- ▶藤村委員より、市民参画手法を取り入れたプロジェクトの進め方について補足説明をした。

・ 主な意見

- ▶普段呼びかけても来ない人たちの視点が必要である。時間のある人の意見ではなく、施設を利用するひとの意見や子育て世代も集める仕組みが重要である。
- ▶多様な属性を一堂には難しいので、世代、属性を分けて調査してはどうか。
- ▶まちに居場所、ふらっと集まれる場所が少なくなっている。機能分化を進めるのではなく、ゆるやかな場が必要なのではないか。フレキシブルに変化していく対応可能な空間のあり方のモデルにしたい。

以上